

1 消防のあゆみとおもな災害



消防本部庁舎（平成6年開署）

消防のあゆみ

年 代	変 遷
昭和 23. 3. 7	消防組織法の公布施行に伴い、警察行政より分離して小田原市消防本部、消防署並びに消防団を設置し、自治体消防として発足する。 ○ 組 織 消防長以下 37 名、消防団 15 個分団、特設 2 個分団 1,237 名 ○ 設 備 消防車 6 台 ○ 設置場所 小田原市幸 1-138
昭和 23. 4. 1	下府中村合併に伴い、消防団を 16 個分団、特設 2 個分団 1,437 名とする。
昭和 25.11. 4	消防本部庁舎を新設する。(消防職員定数 55 名)
昭和 25.12.18	桜井村合併に伴い、消防団を 17 個分団、特設 2 個分団 1,558 名とする。
昭和 26. 7.16	足柄出張所を設置する。 ○ 組 織 消防職員 16 名 ○ 設 備 消防車 2 台 ○ 設置場所 小田原市多古 644 消防本部の係を庶務、予防、消防の 3 係とする。
昭和 27. 4. 1	分団に小型動力ポンプを配置するとともに改組し 19 個分団 653 名とする。
昭和 27. 4. 9	消防職員定数を 62 名とする。
昭和 29. 7.15	豊川村合併に伴い、消防団を 20 個分団 713 名とする。
昭和 29.12. 1	国府津町、酒匂町、上府中村、下曾我村、片浦村合併に伴い、消防団を 25 個分団 1,261 名とする。
昭和 30. 2.28	消防用中短波陸上無線局を開局する。(基地 1・移動 2)
昭和 31. 6. 1	曾我村の一部合併に伴い、消防団を 26 個分団 1,382 名とする。
昭和 31. 6. 4	川東分署を設置する。(消防職員定数 82 名) ○ 組 織 消防職員 16 名 ○ 設 備 消防車 2 台 ○ 設置場所 小田原市国府津 2,493 足柄出張所を足柄分署に改める。
昭和 31.12. 1	川東分署の設置に伴い消防団を改組し 24 個分団、特設 3 個分団 1,159 名とする。
昭和 35. 7. 1	救急車 1 台を本署に配備し、救急業務を開始する。 消防職員定数を 88 名とする。
昭和 36. 4. 1	機構改革により消防本部に事務課(庶務係)、消防課(予防係、消防係)の 2 課を新設する。 消防職員定数を 103 名とする。 常備消防の整備に伴い、消防団を改組し 21 個分団 689 名とする。
昭和 36. 5.25	西分署を設置する。 ○ 組 織 消防職員 16 名 ○ 設 備 消防車 2 台 ○ 設置場所 小田原市南板橋 2-255 足柄分署を北分署に、川東分署を東分署に改める。
昭和 38. 2. 1	消防職員定数を 116 名とする。
昭和 38. 4. 1	西大友分遣所を設置する。 ○ 組 織 消防職員 8 名 ○ 設 備 消防車 1 台 ○ 設置場所 小田原市西大友 9

消防のあゆみ

年 代	変 遷
昭和 38. 5.15	消防職員定数を 129 名とする。
昭和 38. 8. 1	西大友分遣所の設置に伴い、消防団を改組し 21 個分団 639 名とする。
昭和 38.11.18	屈折式梯子消防車（15m級）を本署に配備する。
昭和 39. 5. 1	機構改革により、消防署に指導係を設置する。
昭和 41. 7. 1	本署に救助隊を設置する。（隊員 10 名）
昭和 41.12. 1	消防庁舎を改築する。 ○ 構造 鉄筋コンクリート造地下 1 階、地上 3 階建 ○ 面積 1,993.2 m ² ○ 望楼の高さ 36.5m 機構改革により、事務課に庶務、経理の 2 係を設置、消防課を予防課（保安、指導係）に改め、消防署の指導係を警備係に改める。
昭和 44. 4. 1	消防職員定数を 133 名とする。
昭和 44.10. 6	3 カ年継続事業の小型動力ポンプ専用積載車を全分団へ交付（21 台）完了する。
昭和 44.10.18	機構改革により、消防本部事務課に防災係を設置し、消防署指導係を廃止する。
昭和 45. 4. 1	消防職員定数を 138 名とする。
昭和 46. 4. 1	橘町合併に伴い、消防団を 22 個分団 732 名とする。
昭和 46. 7. 1	消防職員定数を 144 名とする。
昭和 46.11. 9	小田原ライオンズクラブから、救急車 1 台の寄贈を受ける。
昭和 47. 3.30	北分署庁舎を設置し、救急車を配備する。 ○ 構造 鉄筋コンクリート造 1 部 2 階建 ○ 面積 248.20 m ²
昭和 47. 4. 1	消防職員定数を 158 名とする。
昭和 48. 4. 1	機構改革により、事務課防災係を警備係に改める。
昭和 49. 4. 1	機構改革により、事務課を庶務、経理の 2 係とし、予防課を消防課（警備係、予防係、保安係）に改める。
昭和 50. 4. 1	消防本部消防課に査察係を新設する。
昭和 62. 4. 1	消防職員定数を 178 名とする。
昭和 63. 4. 1	城北分署を設置する。 ○ 組織 消防職員 20 名 ○ 設備 消防車 2 台 救急車 1 台 連絡車 1 台 ○ 設置場所 小田原市栢山 3017-2 消防職員定数を 186 名とする。
平成元. 4. 1	機構改革により、消防本部事務課を総務課に、消防課を警防課とする。また、消防署を課・係制度に改め、消防課・警備第 1 課及び警備第 2 課を新設する。 西大友分遣所を西大友分署に改める。 消防職員定数を 192 名とする。 特別救助隊が発足する。

消防のあゆみ

年 代	変 遷
平成 2. 4. 1	消防職員定数を 200 名とする。
	梯子付消防自動車(31m)を本署に配置する。
平成 4. 4. 1	消防職員定数を 210 名とする。
平成 5. 4. 1	機構改革により、総務課を消防総務課（総務係・経理係）、消防課庶務係を消防課管理係に改める。
	消防職員定数を 218 名とする。
平成 6. 4. 1	機構改革により、消防本部予防課（予防係・査察係・保安係）、消防課を廃止し、消防署指導担当（指導係・指令第 1 係・指令第 2 係）を新設する。
平成 6. 8. 1	消防庁舎を小田原市前川 183-18 に移転する。 ○ 構造 鉄筋コンクリート造 3 階建塔屋付 ○ 延床面積 3931.8 m ²
	旧庁舎を中央分署とする。
平成 7. 4. 1	機構改革により、指導担当を廃止し、指令第 1 係、指令第 2 係を警備第 1 課、警備第 2 課の所属とする。また、次長制度を新設する。
平成 7. 6. 30	緊急消防援助隊に登録する。
平成 8. 4. 1	機構改革により、予防課査察係・保安係を統合し、予防課査察保安係とする。
平成 8. 7. 9	防災体制の充実を図るため、北分署を市役所本庁舎 1 階に移転する。
平成 12. 6. 1	小田原市消防職員退職者 23 名により、消防本部の行う消防活動を支援する小田原市災害時消防支援隊を設置する。
平成 16. 4. 1	機構改革により、消防署指導係を管理調査係に改める。
平成 18. 4. 1	機構改革により、警防課に救急救命係を新設。
平成 18. 8. 1	中央分署及び西分署を統合し南分署を設置する。
	構造 鉄筋コンクリート造 4 階建 設置場所 小田原市南町 1-9-36
平成 23. 4. 1	機構改革により、消防総務課総務係と経理係を統合し、消防総務課総務係とする。また、予防課査察保安係を予防課指導係、予防課危険物係とする。
平成 25. 3. 31	南足柄市及び足柄上郡 5 町（中井町、大井町、松田町、山北町及び開成町）から消防事務を受託する。 この消防の広域化により 1 本部 2 署 2 分署 7 出張所で、職員数 3 5 3 名の配備態勢となる。 署所の名称を改める。小田原消防署、南町分署、荻窪出張所、国府津出張所、栢山出張所、西大友出張所

	<p>足柄消防署、松田分署、岡本出張所、山北出張所、中井出張所を配置する。</p> <p>機構改革により、消防総務課を総務係と財務係とする。広域調整課（広域調整係、消防団係）を新設する。警防課を警防計画課（計画係、装備係）に改める。救急課（救急対策係）を新設する。情報司令課（情報管理係、司令係）を新設する。消防署管理調査係を廃止し、消防課を新設する。警備課を警防課に改める。</p>
	<p>小田原消防署に高度救助隊を発足する。</p>
平成 26 . 4 . 1	<p>女性分団発足に伴い、消防団を 23 個分団 752 名とする。</p>
平成 29 . 4 . 1	<p>栢山出張所に女性消防吏員の施設を整備し運用を開始する。</p>

消防の広域化について

平成25年3月31日、小田原市消防と足柄消防組合は統合し、県西地域2市5町（小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町及び開成町）を管轄する「新たな小田原市消防」としてスタートしました。

新体制のもと、災害対応力の強化や行財政運営の効率化など、消防の広域化による効果を最大限に活かし、火災などに強い安心して暮らせるまちの実現を目指して、これからも消防職員一丸となって取り組んでいきます。

～ 消防の広域化の経緯 ～

年 月	内 容	所 管
平成18年6月	「消防組織法」を一部改正	総務省消防庁
平成18年7月	「市町村の消防広域化に関する基本指針」告示	
平成19年3月	「広域消防検討分科会」を設置	県西地域広域 市町村圏協議会
平成19年5月	「市町村の消防の広域化検討結果報告書」作成	神奈川県
平成19年5月	広域化のメリット・デメリットを整理（広域消防検討分科会）	県西地域広域 市町村圏協議会
平成20年3月	「神奈川県消防広域化推進計画」を策定	神奈川県
平成22年3月	「広域消防グランドデザイン」作成（広域消防検討分科会）	県西地域広域 市町村圏協議会
平成22年4月	「消防広域化検討部会」を設置	
平成23年2月	「消防広域化検討結果報告書」作成（消防広域化検討部会）	神奈川県西部 広域行政協議会
平成23年8月	消防の広域化に向けた新たな協議組織への参画を表明	
平成23年9月	「神奈川県西部消防広域化協議会」の設置	神奈川県西部
平成24年1月	全ての協議項目を確認し各市町が参画表明	消防広域化協議会
平成24年3月	「足柄消防組合の解散に係る協議について」議決	足柄1市5町 各議会
平成24年4月	「神奈川県西部広域消防運営計画」の承認 「消防事務の委託に関する規約」の承認	神奈川県西部 消防広域化協議会
平成24年6月	「消防事務の委（受）託に関する協議について」議決	県西地域2市5町 各議会
平成24年7月	2市5町の首長による「消防事務の委託に関する規約締結式」が挙行され、消防の広域化が正式に決定	神奈川県西部 消防広域化協議会

歴代消防長

代名	氏名	就任・退任年月	
初代	永野 林次	昭和23年 3月	昭和30年 3月
2	荻窪 幸六	昭和30年 4月	昭和36年 9月
3	二見 衡平	昭和36年10月	昭和40年 6月
4	小野 菊造	昭和40年 7月	昭和44年10月
5	勝間田 熊雄	昭和44年11月	昭和47年 5月
6	遠藤 英昭	昭和47年 6月	昭和62年 3月
7	内藤 慶一	昭和62年 4月	昭和62年11月
8	中村 満	昭和62年12月	平成 5年 3月
9	中村 久雄	平成 5年 4月	平成 8年 3月
10	高橋 廣毅	平成 8年 4月	平成 9年 3月
11	塩塚 喜六	平成 9年 4月	平成13年 3月
12	大木 徹	平成13年 4月	平成14年 3月
13	二見 泰亘	平成14年 4月	平成16年 3月
14	椎野 清一	平成16年 4月	平成18年 3月
15	府川 利明	平成18年 4月	平成19年 3月
16	中村 章	平成19年 4月	平成20年 3月
17	日比野 満雄	平成20年 4月	平成22年 3月
18	木目田 和義	平成22年 4月	平成24年 3月

代名	氏名	就任・退任年月
19	鈴木 元	平成24年 4月 ~ 平成25年 8月
20	本多 高弘	平成25年 9月 ~ 平成26年 3月
21	都筑 正宏	平成26年 4月 ~ 平成27年 8月
22	守屋 伸彦	平成27年 9月 ~ 平成29年 3月

歴代消防署長（小田原）

代名	氏名	就任・退任年月	
初代	永野 林次	昭和 23 年 3 月 7 日	昭和 30 年 8 月 4 日
2	荻窪 幸六	昭和 30 年 8 月 4 日	昭和 35 年 4 月 15 日
3	二見 衡平	昭和 35 年 4 月 15 日	昭和 38 年 1 月 8 日
4	小野 菊蔵	昭和 38 年 1 月 8 日	昭和 40 年 7 月 1 日
5	勝間田 熊雄	昭和 40 年 7 月 1 日	昭和 44 年 10 月 18 日
6	遠藤 英昭	昭和 44 年 10 月 18 日	昭和 47 年 5 月 28 日
7	中根 清	昭和 47 年 5 月 28 日	昭和 57 年 11 月 1 日
8	柴崎 源次	昭和 57 年 11 月 1 日	昭和 62 年 3 月 31 日
9	中村 満	昭和 62 年 4 月 1 日	昭和 63 年 3 月 31 日
1 0	高橋 廣毅	昭和 63 年 4 月 1 日	平成 8 年 3 月 31 日
1 1	川口 利雄	平成 8 年 4 月 1 日	平成 9 年 3 月 31 日
1 2	小川 暉隆	平成 9 年 4 月 1 日	平成 11 年 3 月 31 日
1 3	磯崎 洋三	平成 11 年 4 月 1 日	平成 13 年 3 月 31 日
1 4	初瀬川 洋興	平成 13 年 4 月 1 日	平成 15 年 3 月 31 日
1 5	府川 利明	平成 15 年 4 月 1 日	平成 16 年 3 月 31 日
1 6	中村 章	平成 16 年 4 月 1 日	平成 18 年 3 月 31 日
1 7	小関 正男	平成 18 年 4 月 1 日	平成 19 年 3 月 31 日
1 8	鈴木 元	平成 19 年 4 月 1 日	平成 21 年 3 月 31 日

19	増田 孝幸	平成 21 年 4 月 1 日	~	平成 23 年 3 月 31 日
20	大館 信雄	平成 23 年 4 月 1 日	~	平成 25 年 3 月 30 日
21	角田 貢一	平成 25 年 3 月 31 日	~	平成 26 年 3 月 31 日
22	守屋 伸彦	平成 26 年 4 月 1 日	~	平成 27 年 3 月 31 日
23	米山 喜章	平成 27 年 4 月 1 日	~	平成 29 年 3 月 31 日

消防長を兼務

歴代消防署長（足柄）

代名	氏名	就任・退任年月		
初代	葦山 茂	平成 25 年 3 月 31 日	~	平成 26 年 3 月 31 日
2	羽田 榮	平成 26 年 4 月 1 日	~	平成 28 年 3 月 31 日
3	岸 成典	平成 28 年 4 月 1 日	~	平成 29 年 3 月 31 日

おもな災害

年月日	災害の種類	被害場所	被害
昭和23. 9.16	アイオン台風	市内全域	死者2, 負傷者2, 流出家屋36, 半流出家屋14, 道路決壊11, 河川堤防決壊44
昭和24. 5.10	火災	緑1 玩具店	全焼41 損害額130,080千円
昭和24. 8.31	キティ台風	市内全域	死者1, 負傷者26, 流出家屋及び全壊103, 河川決壊4, 道路堤防決壊8
昭和26.11.28	火災	万年1 木工所	全焼282, 半焼10 損害額151,440千円
昭和30. 2.21	"	荻窪 住宅	全焼4, 部分焼3 死者4 損害額2,800千円
昭和30.12.29	"	緑4 旅館	全焼1, 半焼2 損害額8,100千円
昭和35. 6. 6	"	久野 住宅	全焼1, 部分焼1 死者1 損害額715千円
昭和38. 1. 9	"	緑1 家具店	全焼1, 部分焼2 損害額15,724千円
昭和41. 1. 9	"	多古 中学校	全焼1 損害額23,784千円
昭和42.11.27	"	井細田 工場	半焼1 損害額182,263千円
昭和43. 3.27	"	栄町 教会	全焼2, 半焼1, 部分焼1 死者2 損害額19,831千円
昭和43. 4.23	"	栄町2 菓子店	全焼3, 半焼4 損害額43,961千円
昭和43. 6. 2	"	池上 小学校	半焼1, 部分焼1 損害額8,063千円
昭和44. 7.25	"	栄町2 レストラン	全焼1, 半焼3, 部分焼2 損害額42,358千円
昭和45. 1.19	"	城山3 中学校	全焼4 損害額40,573千円
昭和45. 3.14	"	堀之内 電気店	全焼1, 部分焼1 死者1 損害額9,275千円
昭和45. 7. 3	"	高田 工場	部分焼1 損害額58,589千円
昭和46. 1. 9	"	中曽根 住宅	全焼1, 部分焼6 死者3 損害額899千円
昭和46. 3. 5	"	板橋 家具店	全焼1, 部分焼5 損害額64,279千円
昭和47. 3.16	"	扇町 住宅	全焼1, 部分焼1 死者1, 負傷者1 損害額2,630千円
昭和47. 9.15 ~16	集中豪雨 台風20号	市内全域	死者2, 負傷者5, 家屋全壊2, 橋りょう流出損壊2

おもな災害

年月日	災害の種類	被害場所	被害
昭和48.4.19	火災	高田工場倉庫	全焼1 1,472 m ² 焼損 負傷者1 損害額81,350千円
昭和48.8.12	"	蓮正寺工場倉庫	全焼1 1,728 m ² 焼損 負傷者1 損害額207,510千円
昭和48.10.7	"	中町1材木置場	全焼27,半焼1,部分焼11 4,120 m ² 焼損 損害額209,800千円
昭和49.1.23	"	曾我大沢小学校	全焼4,部分焼1 2,256 m ² 焼損 損害額27,650千円
昭和50.1.14	"	小八幡3工場	全焼5,部分焼3 971 m ² 焼損 損害額15,000千円
昭和50.3.24	"	国府津3郵便局	全焼2,半焼1,部分焼2 460 m ² 焼損 損害額28,387千円
昭和50.5.7	"	中町3工場	全焼3,部分焼2 431 m ² 焼損 損害額25,897千円
昭和51.1.20	"	田島寺院	全焼1 158 m ² 焼損 損害額8,762千円
昭和51.1.27	"	板橋住宅	全焼3,部分焼2 268 m ² 焼損 損害額12,546千円
昭和51.11.21	"	久野住宅	全焼2,半焼1,部分焼2 255 m ² 焼損 損害額16,652千円
昭和51.12.8	"	扇町木工所	全焼5,部分焼6 498 m ² 焼損 損害額23,788千円
昭和53.3.20	"	中町3木工所	全焼10,半焼3,部分焼2 1,100 m ² 焼損 損害額66,605千円
昭和53.4.11	"	栄町1事務所	全焼1,部分焼3 745 m ² 焼損 損害額28,691千円
昭和53.5.24	"	扇町1保護施設	全焼5,半焼1 649 m ² 焼損 損害額19,038千円
昭和53.6.23	"	本町4製材所	全焼2 656 m ² 焼損 損害額7,548千円

おもな災害

年月日	災害の種類	被害場所	被害
昭和54. 3.12	火災	南町3 住宅	全焼3, 半焼2, 部分焼3 1,009 m ² 焼損 損害額 112,913 千円
昭和54. 4.11	"	小台 住宅	全焼3 267 m ² 焼損 死者1 損害額 8,997 千円
昭和54.12.18	"	中町3 木工所	全焼6 761 m ² 焼損 損害額 61,621 千円
昭和55. 8.15	"	中里 住宅	全焼2, 部分焼2 214 m ² 焼損 死者1 損害額 22,507 千円
昭和56. 4. 1	"	久野 飲食店	全焼1 203 m ² 焼損 死者1 損害額 10,924 千円
昭和56. 7.11	"	扇町 材木店	全焼9, 半焼1, 部分焼7 1,290 m ² 焼損 負傷者3 損害額 110,699 千円
昭和57. 3.25	"	南町 住宅	半焼1, 部分焼2 738 m ² 焼損 損害額 23,695 千円
昭和61. 1.28	"	久野 製材所	全焼1, 部分焼4 1,088 m ² 焼損 損害額 33,321 千円
昭和63. 1. 2	"	下大井 工場	全焼2, 半焼1 569 m ² 焼損 損害額 99,622 千円
昭和63. 2. 5	"	城山 住宅	全焼5, 半焼3, 部分焼8 507 m ² 焼損 損害額 27,377 千円
平成 2.10.28	"	入生田 倉庫	全焼2 205 m ² 焼損 損害額 33,150 千円
平成 3. 9. 4	"	扇町 共同住宅	全焼1, 半焼1, 部分焼1 1,148 m ² 焼損 死者1 損害額 46,931 千円
平成 4. 7.21	"	寿町1 工場	全焼1, 半焼1, 部分焼1 1,327 m ² 焼損 損害額 77,559 千円
平成 4.12.14	"	南町1 住宅	全焼4, 半焼1, 部分焼2 409 m ² 焼損 損害額 15,060 千円
平成 6. 8.11	"	荻窪 工場	全焼2, 部分焼3 1,308 m ² 焼損 負傷者1 損害額 114,459 千円
平成 7.10.25	"	小八幡2 住宅	全焼4, 半焼1, ぼや4 523 m ² 焼損 損害額 42,989 千円
平成 8. 3. 5	"	成田 工場	半焼1 1,228 m ² 焼損 損害額 267,817 千円

おもな災害

年月日	災害の種類	被害場所	被害
平成 9. 5.23	火 災	久野 寄 宿 舎	全焼 1 , ぼや 1 487 m ² 焼損 損害額 15,516 千円
平成 10. 1.23	"	久野 工 場	全焼 2 533 m ² 焼損 損害額 26,605 千円
平成 11. 1.21	"	府川 住 宅	全焼 5 661 m ² 焼損 損害額 17,797 千円
平成 11. 2. 1	"	飯泉 住 宅	全焼 2 , 部分焼 1 , ぼや 3 140 m ² 焼損 死者 1 損害額 16,046 千円
平成 11. 2.17	"	小竹 住 宅	全焼 3 , ぼや 2 285 m ² 焼損 死者 1 , 負傷者 1 損害額 19,650 千円
平成 12. 9.14	"	石橋 住 宅	全焼 2 , ぼや 2 190 m ² 焼損 死者 1 , 負傷者 1 損害額 21,624 千円
平成 13. 2.25	"	小八幡 住 宅	全焼 1 , 半焼 1 , 部分焼 1 , ぼや 1 196 m ² 焼損 死者 5 , 負傷者 3 損害額 8,922 千円
平成 15 . 2.18	"	本町 2 店舗併用住宅	全焼 1 , 半焼 1 327 m ² 焼損 死者 1 , 負傷者 2 損害額 17,375 千円
平成 15 . 3.12	"	前川 倉 庫	全焼 4 , 部分焼 2 , ぼや 10 2,608 m ² 焼損 損害額 294,877 千円
平成 15 . 8.11	"	飯泉 工 場	全焼 2 , ぼや 2 2,468 m ² 焼損 負傷者 3 損害額 131,289 千円
平成 16 . 7.3	"	扇町2 住 宅	全焼 4 , 部分焼 4 , ぼや 2 265 m ² 焼損 損害額 11,401 千円
平成 17.6.27	"	小 船 牛 舎	全焼 3 475 m ² 焼損 乳牛 3 3頭焼損 負傷者 2 損害額 24,462 千円
平成 18.1.18	"	下大井 住 宅	全焼 1 , ぼや 3 193 m ² 焼損 死者 1 損害額 27,456 千円
平成 19.11.5	"	根府川 住 宅	全焼 2、部分焼 3 , ぼや 3 240 m ² 焼損 死者 1 , 負傷者 1 損害額 14,149 千円
平成 20.12.27	"	曾我大沢 住 宅	全焼 1 71 m ² 焼損 死者 1 損害額 1,853 千円

おもな災害

年月日	災害の種類	被害場所	被害
平成 21.1.30	火 災	荻窪 店舗兼事務所	半焼 1 82 m ² 焼損 死者 2、負傷者 4 損害額 11,370 千円
平成 22.12.28	"	栄町 3 住 宅	全焼 5、ぼや 5 538 m ² 焼損 損害額 18,614 千円
平成 23.4.17	"	西大友 併用住宅	全焼 3、半焼 1 226 m ² 焼損 損害額 28,105 千円
平成 24.2.17	"	東町 5 住 宅	全焼 1、ぼや 2 39 m ² 焼損 死者 1、損害額 1,019 千円
平成 24.7.16	"	小船 倉 庫	全焼 1、ぼや 4 404 m ² 焼損 損害額 6,499 千円
平成 25.3.24	"	寿町 2 小学校体育館	全焼 1、ぼや 1 720 m ² 焼損 損害額 141,602 千円
平成 25.9.16	"	扇町 2 店舗併用住宅	全焼 4、部分焼 1 659 m ² 焼損 損害額 103,618 千円
平成 25.10.21	"	南町 3 住 宅	全焼 3、半焼 1、部分焼 1 918 m ² 焼損 損害額 11,722 千円
平成 26.7.31	"	中井町井ノ口 店舗併用住宅	全焼 1 775 m ² 焼損 負傷者 3 損害額 111,697 千円
平成 27.6.30	"	上町 鉄 道 (新幹線車両)	損害額 17,748 千円 死者 2、負傷者 28
平成 27.10.18	"	松田町寄 納屋・住宅	全焼 3、部分焼 1 306 m ² 焼損 損害額 18,276 千円
平成 27.12.17	"	南足柄市大雄町 店舗併用住宅	全焼 5、部分焼 1 658 m ² 負傷者 1、損害額 33,719 千円

平成 25 年からの変更事項

- 1 小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町及び開成町における災害記録を記載しています。
(平成 24 年以前は、小田原市のみを記載)
- 2 掲載する災害は、火災・災害等即報要領(昭和 59 年 10 月 15 日消防災第 267 号 消防庁長官)「第 2 即報基準」に基づく、火災・災害等としています。